

業 務 速 報

NO. 1244

2021.2.4

J R 東海労働組合

発行 木下 和樹

編集 森下 暢紀

2020年度第3四半期決算に関する 申し入れの窓口回答について。

本部は、会社のホームページにて、1月29日に2020年度第3四半期の決算を発表する予定であることを知り、現在、新型コロナウイルス感染症の発生を受けた外出自粛等の影響により組合員及び社員は、業績見通しに不安を持ちながら業務を遂行しているので、速やかに経営協議会を開催して現状の経営状況を説明することを申し入れましたが、窓口回答になりました。内容は、以下の通りです。

1. 2020年度第3四半期決算の公表に合わせて経営協議会を開催し、現状の経営状況を説明すること。

【回答】

・令和2年度第3四半期決算については、新型コロナウイルス感染症の発生を受けた外出及び移動の自粛等の影響により、当社・グループ会社ともに引き続き極めて厳しい経営環境が続く中、連結営業収益は大幅な減収となった。

こうした中、費用削減を協力に推進したことなどにより営業費の減少はあったものの大きな営業損失を計上した。

詳細については、決算短信及び関連するプレスリリース資料等を確認されたい。

通期の業績予想については、前回予想を据え置く。

緊急事態宣言が再発令されるなど厳しい状況が続いているが、感染拡大防止に取り組みながら、安全安定輸送の確保を最優先に輸送機関としての使命を果たしていく。また、感染収束後も見据え、サービスの一層の充実に取り組むとともに業務執行全般にわたる効率化・低コスト化を一層強化し、経営体力の充実を図る。

なお、1月のご利用状況については、28日までで東海道新幹線（東京口断面輸送量）が前年比25%、在来線特急列車が同27%、名古屋近郊が同64%と、引き続き前年を大きく下回る状況が続いている。

《主なやりとり》

組合：窓口回答の理由は、以前の経営協議会で会社が説明したことと、何ら変わりはないからなのか。

会社：そうである。

以 上